

# 人権・同和教育指導計画

## 指導目標

一人ひとりの人間の尊厳を重んじるという基本理念に立ち、同和問題を人権問題の重要な柱としてとらえ、またさまざまな人権問題の学習と相互に関連づけながら、あらゆる差別を排除し、すべての人間の未来を保障する教育を推進していく。

## 〈方針〉

人権・同和教育は特に本校教育の基底となるものであり、生徒の学校内における日常生活と学習活動のほとんどすべての場は人権・同和教育に連なっていることを確認することが第一歩である。

1. 現職教育を充実し、研修と実践の実をあげていく。
2. 部落問題をはじめさまざまな人権問題についての適切な教材を発掘し、また学習を深めるための体験活動などを実践しながら、生徒一人ひとりの人権意識を高め、科学的な生活態度と人生観、世界観の確立に努力する。
3. 生徒一人ひとりを大切にする教育を充実させ、生徒と接するあらゆる機会を大切にしながら、自己肯定感を育てるとともに、教師と生徒、生徒と生徒の温かい人間関係を作り、明るい民主的な学校の建設を図る。
4. 表面にあらわれてこない差別に対しても厳しく見つけ、積極的に研究を進めていく。
5. 生徒の偏見や差別意識は生徒を取り巻く社会、特に家庭において形成されることを重視、その指導を推進していく。

＜人権・同和に関する総合的な学習(特設授業)の年間計画＞

メインテーマ『正しい人権意識を身につけ、命を尊びいっさいの差別をなくしていく態度と行動力を養う』

	1年特設	2年特設	3年特設
4月	『新入生のみなさんへ』① 仲間作り『みんな仲間だ』② 向上学級について『私の学級』②	仲間作り『カエルのお願い』②	仲間作り『人権について思うこと』 ② 修学旅行について①
5月		職場体験に向けて② 『クリームパン』 『ダイヤモンドランキング』	全国水平社『はばたく紀の国』 『立て！仲間よ！兄弟よ!』②
6月	障がい者理解 『しんちゃんが泣いた』② 車椅子(事前①,体験②)		
7月			
8月	平和学習①	平和学習①	平和学習①
9月	高齢者社会を考える 老人ホーム訪問④		基本的人権について(部落差別) 『美しいメッセージ』②
10月		学習事前学習 『ふたりのタロウ』②	
11月		社会科歴史学習 『身分制度について』① 歴史学習事後指導 『言葉と私たちの生活』②	日本と韓国③ 『残された名刺』 ゲストティーチャーのお話③
12月			wysh教育②
1月	投げ込み『言葉の大切さ』①		
2月			
3月			真剣に生きる 『絶体絶命 650名決死の脱出 劇～土石流と闘った8時間～』②

○内の数字は時間数